

香川県立

2023 学校案内

# 農業大 学校

Kagawa prefectural agricultural college



香川農大

検索 







令和4年度は8月に1回(延べ2回)、オープンキャンパスを開催予定。

## 教育の目的

次代の農業を担い、地域における農業の振興に指導的役割を果たす人材を養成するための教育を行います。

- 高度で実践的な農業技術と専門知識の習得
- 国際化・情報化時代に対応できる創造力豊かな企業的経営感覚の養成
- 農業・農村社会のリーダーとして必要な指導力、企画力の養成
- 社会人として幅広い視野と協調性、連帯性の養成

## 教育の充実を目指して

- 農業者研修教育施設としての農業大学校に加え、学校教育法に基づく専修学校に位置づけられています。これにより担い手養成科では、日本学生支援機構の奨学金の利用や4年制大学への編入への道が開かれたほか、卒業生には「専門士」の称号が与えられます。また、国の新規就農者育成総合対策(就農準備資金)事業は、担い手養成科、技術研修科(就農実践研修)ともに交付対象であり、令和元年度には高等教育就学支援新制度の対象機関となっています。
- 教育施設 総土地面積 76,014㎡(うち、圃場 49,648㎡、建物敷地 13,614㎡)

建 物	本 館	大教室、小教室、図書室、生物実験室、化学実験室、製図室、調理室
	南 寮 舎	視聴覚室、研修室(寮舎はありますが、入寮はできません。)
	先端技術演習施設	生物工学演習室、情報処理演習室、流通加工演習室
	そ の 他	体育館、学生会館(直売所)
実習施設	ガラス温室(10棟)、硬質プラスチックハウス(6棟)、パイプハウス(8棟)、現場教室、機械研修施設、トラクター教習コース	



100人が講義を受けられる大教室で講義や発表会



パソコンを備えた情報処理演習室



# 担い手養成科

## 教育の特色

- **農場実習と講義を組み合わせ、より実践的に学びます**  
授業のおよそ半分は実習です。作物の栽培や家畜の飼養などの生産活動を通して講義や演習、実験で学ぶ理論を実習と関連しながらしっかりと身に付けます。普通科や工業科卒業生も農業の基礎から学べます。
- **役立つ「資格・免許」でスキルアップ**  
大型特殊自動車（農耕車限定）、2・3級日本農業技術検定、2・3級造園技能士（造園緑化コース）、家畜人工授精師（畜産コース）、農業機械士、毒物劇物取扱者、危険物取扱者、刈払機、チェーンソー、フォークリフト、小型車両系建設機械、小型移動式クレーン、狩猟免許（わな猟、網猟）などの実用的な資格取得を応援します。
- **充実の講師陣、少人数で専門教育**  
大学や試験研究機関、企業などから多彩な外部講師を招き、教育内容の充実を図っています。  
少人数の専攻コース別に、経験豊かな教授、講師陣がきめ細やかな専門教育を行います。
- **自ら学ぶ専攻実習と自らの思いを語る意見発表**  
2学年で取り組む専攻実習は、課題の設定から調査研究、取りまとめ、発表までを学生が行うことにより、自ら行動し学ぶ力を身に付けます。1学年では農業に対する自らの考えを発表する機会があります。



農業経営者から直接学ぶ



大勢の前で意見を発表して優秀者は表彰

## 専攻コース及び教育内容

専攻コース	修学期間	基本学習（1学年）	応用学習（2学年）
野菜園芸 花き園芸 果樹園芸 造園緑化 畜産	2年	基本学習期間とし、講義（一般教養科目、基礎教育科目、専攻別専門科目）と実習を主体に学習を行い、農業に関する基本的な知識・技術を習得する。	基本学習と体験学習をもとに自ら研究課題を設定し、自主的に実験、調査研究活動を行うことによって創造性豊かな人間形成を図る。 また、学生生活を通じてリーダーシップを醸成し、幅広い社会性を身につける。

## カリキュラム（令和4年度実施科目）

### ○一般教養科目

くらしと法律／くらしと経済／キャリアデザイン／農村と文化／情報処理／異文化コミュニケーション

### ○基礎教育科目（主なもの）

農業基礎概論／生物工学概論／植物防疫／雑草学／土壌肥料／有機農業／農畜産物流通／マーケティング論／農業行政／加工食品と食生活／農業経営／農業簿記／労務管理／国際農業論／農業機械／スマート農業／農業気象と環境／農業法人と営農組織／農業基礎実験／就農・就業ガイダンス／農業協同組合／農家実習

### ○専門教育科目（専攻コースごとに専門科目を設定しています。）

野菜園芸コース：果菜類栽培／葉菜類栽培／根菜類栽培／野菜栽培機械／野菜新技術／野菜養液栽培など  
花き園芸コース：1・2年草／宿根草／球根類／鉢花栽培／洋ラン／花壇苗栽培／フラワーアレンジなど  
果樹園芸コース：常緑果樹（カンキツ、オリーブ等）／落葉果樹（ブドウ、モモ等）／整枝剪定／果樹経営など  
造園緑化コース：造園概論／緑化植物／緑地環境計画／造園計画設計／造園施工／造園材料／景観デザインなど  
畜産コース：家畜人工授精概論／家畜飼養／家畜生理・解剖／家畜育種／畜産環境／家畜衛生／飼料作物など

### ○農場実習・専攻実習

1年生 農場実習：月・水・金曜日の午後は、コース別に本校農場等で基本的な技術を実習  
畜産コースは、金曜日（終日）に限り、畜産試験場や先進農家等で基本的な技術を実習  
2年生 専攻実習：月・水・金曜日は、校内のほか先進農家や試験場等で先進的な技術を実習、調査研究



## 専攻コースの紹介

### 野菜園芸コース

本県の主要野菜のうち、露地品目ではレタス、ブロッコリーなどの葉茎菜類、ニンジン、大根などの根菜類のほか豆類なども栽培しています。施設品目ではトマト、ナス、キュウリのほか、香川県独自のらくちん栽培によるイチゴもあり、県内で生産されている品目を幅広く学ぶことができます。



向井 慶太さん

#### Voice

私は、高校での勉強を通して農業の大切さを学び、就農または農業関連の仕事に就くため農業大学校に進学しました。その中で、有望なのは野菜だと感じたのでいろいろな野菜品目の実践的経験を積むために野菜園芸コースを選択しました。

卒業後の進路はまだ迷っていますが、ここで学んだ知識と農作業体験を活かし、社会に貢献できる職業に就きたいです。農大での経験は、そのために必ず役に立つと思っています。



### 花き園芸コース

県内の主要花きであるキクやカーネーションの切り花はもちろん、ポインセチア、シクラメン、サイネリア等の鉢物やパンジー、サルビア等の花壇苗の栽培方法を、実習と講義を通じて学習します。

また、県農業試験場等で開発された新しい技術やオリジナル品種を利用したプロジェクト活動も行っています。



西岡 虹花さん

#### Voice

私は花が好きで、自分で育てた花や植物を多くの人に届けたいと思い、花き園芸コースを専攻しました。

農大では、多くの知識や技術を学ぶことができます。先輩や先生方も優しく教えてくれるので、楽しく学ぶことができます。

少しでも興味のある人は、オープンキャンパスに参加してみてください。



### 果樹園芸コース

香川県の主要な果樹であるカンキツ、ブドウ、モモ、カキ等に加え、キウイフルーツは県のオリジナル品種をそろえています。さらに最近注目されているオリーブなど、幅広い品目について実習と講義を通じて栽培方法を学びます。

実習園ではスピードプレイヤーを用いた防除作業やパワーショベルによる改植作業なども学ぶことができます。



森兼 礼有さん

#### Voice

僕は農業科の高校で果樹を専攻していました。農業大学校の果樹園には、高校にはなかった果樹が植えられていて、毎回新鮮な気持ちで実習に取り組んでいます。

今までとは違う環境で扱い方がよく分からない果樹の管理作業は不安でしたが、頼りになる先輩や優しい先生方の指導で安心して実習ができています。学ぶことがとても多いので、農業科の人もそうでない人も一緒に学びましょう。





## 造園緑化コース

緑化木等の育成や造園に関する設計、施工、管理の基礎について学ぶとともに、校内で実際に作庭(見本庭園など)や庭園管理を実習します。

また、造園技能士(2・3級)の取得に向けた講義・実習を行うほか、希望により、小型移動式クレーン、玉掛けなどの資格取得の機会もあります。



西村 匠馬さん

### Voice

私は、高校時代から造園に関わっており、より専門的な知識や技術を学びたいと思い入学しました。

農大は、高校よりも自由度が高く、率先して作業をすることで、より深く学ぶことができます。

また、様々な資格取得もできるので、就職に有利になるよう多くの資格を取得し、希望する造園会社に就職できるよう頑張りたいと思います。



## 畜産コース

畜産全般の総合的知識と家畜飼養管理技術、畜産環境等について学ぶことは当然ですが、他コースの農場実習に参加することで、異なった視点から耕畜連携やSDGsに対応する能力を養成しつつ、学生間の「絆」を築いていきます。

また、県畜産試験場の研究員や先進的経営者の下における実習を重視しており、家畜人工授精師等の資格を適宜取得できるシステムを準備しております。



田中 明日実さん

### Voice

私は、将来畜産関係の職業に就きたいので、身近で畜産を詳しく勉強したいと考えていました。そんな時本校の学校案内を読み、畜産コースの紹介が、主要家畜の専門的知識等を学べることと実習主体の教育方針であり、私の希望にあっていたので、入学しました。

県畜産試験場と先進的畜産経営者での実習、家畜人工授精師等の色々な資格取得は、自分の将来に必ず役立つと信じて、2年間一生懸命頑張っています。



## 学生自治会活動



### Voice

学生自治会長

山本 紘輝さん

農業大学校は2年間のカリキュラムで、農業の基礎から専門的な知識を学ぶことができる講義の他、様々な実習を通して先進的な管理技術も習得できます。さらに、農耕車限定の大型特殊自動車やフォークリフトなど、将来に活かせる資格や免許の取得も可能です。

本校の学生自治会では、新入生歓迎の行事(4月)、校内スポーツ大会(6月)四国の農大が集まって交流・親睦を深める農学連スポーツ大会(10月)や学校で育てた農作物の収穫祭(10月)などを実施しています。

農大に入学して、私たちと一緒に充実した学校生活を送りましょう。



新入生歓迎のスポーツ大会・こんぴら参り



イベントでの農産物販売



## 卒業生の進路・海外研修

本校は昭和52年に開設し、令和4年3月までに2,215名の卒業生を送り出しました。

### 過去5年間

(単位：人)

就 農			農業関連就職					その他		計
自営・ 農業法人	研修後 就農	小計	公務員	農業団体	青果・ 花市場	農薬・肥料 食品関係等	小計	進学	その他 企業等	
49	17	66	8	21	6	17	52	1	21	140

主な進路は、自営や農業法人への就農のほか、農業・食品関係企業への就職などです。

**主な進路** 自営、キウイバード、白井の実ファーム、尾野農園、さんわ農夢、さぬきベジファーム、グリーンフィールド、小原農園、かわさきサラダ、スカイファーム、石原、大平やさい、荒川農園、いしかわ農園、七星食品、高島産業、将基酪農、山種易牧場、五栄カイリク興業、グラスハウス、四国緑化産業、農大教育助手、自衛隊、農研機構、JA香川県、農業共済組合、高松青果、高松大一青果、香川県営農支援センター、畜産公社、常谷種苗園芸、農協食品、西村ジョイ、香川県庁など

卒業後、海外研修(アメリカ1年半、ヨーロッパ3か月~1年、オーストラリア1年など)に参加できます。

これまで59名が参加し、世界の先進的な農業を学習、体験しています。

## 技術研修科

新規就農を希望する人を対象に基礎から農業を学ぶ「就農を支援するための研修」や、既に就農している農業者などを対象とした「農業経営を発展させるための研修」、「営農技術向上を図るための研修」、県民の皆様を対象とした「農業への理解を促進するための研修」などを実施しています。

### 就農を支援するための研修

研修項目	研修コース	研修期間	内 容
就農実践研修	野菜コース 花きコース 果樹コース	4月~翌年3月 (1年間)	農業に必要な基礎知識と野菜・花き・果樹の栽培管理技術を習得する就農希望者向けの研修。
就農準備研修	野菜コース 花きコース 果樹コース	I期(4~7月) II期(10~3月)	野菜・花き・果樹の基礎知識と栽培管理技術を習得する初心者向けの研修。研修期間は6か月間で、4月、10月の年2回開講。ただし、果樹コースの10月入校はありません。
就農基礎講座	—	実施する場合は ホームページで お知らせします	農業に関心を持ち、近い将来農業を始める人向けの初歩的な研修。昼間に就労している方向けで夜間講義が主体。6回の講義と1回の農場実習を実施します。

### ●カリキュラム(令和4年度実施科目)

科 目	講 座 名(主なもの)	
共通科目	研修基礎科目	
コ ー ス 別 科 目	野菜コース	野菜栽培(果菜類・葉茎菜類・根菜類)
	花きコース	宿根草栽培、鉢花栽培、球根類栽培
	果樹コース	果樹概論、落葉果樹

就農実践研修では、担い手養成科の授業(大学校が指定する科目)を聴講することができます。

### ●農場実習(令和4年度実施状況)

農場実習は就農実践研修・就農準備研修ともに、野菜コースは週1日(準備研修)、週3日(実践研修)の全日、他コースは週3日の半日

研修コース	曜 日		
	月	水	金
野菜コース	全日	全日	全日
花きコース	半日	半日	半日
果樹コース	半日	半日	半日



教室での講義



野菜の栽培実習



## ● 研修生の声

### 「地域の長所を活かしたい」

**Voice** 高橋 里佳さん

祖父の畑で育った野菜が大好きでした。買った人参は苦手でしたが、祖父の作ったものは不思議と食べられたので、野菜づくりは将来したいことのひとつでした。

そして県外から香川の魅力にひかれて移住してきました。

当たり前地域の長所を新規参入者だからこそできる柔軟な発想で活かしていきたいと思います。

まずは基本を覚え、自分に合った作物をみつけるチャンスをくださった皆さんに感謝し、学んでいきます。



### 「香川の農業を盛り上げるために」

**Voice** 木村 和史さん

これまでは実業団に所属したアスリート（陸上）として生活をしてきました。

アスリート時代は日本代表も経験することができ、香川のスポーツ界を盛り上げてきました。

引退後は実家が野菜農家ですので、後継者になることを決めておりました。

ですが農業のことは全く無知な私ですので、まず農業大学校で農業の基本を学び、「スポーツと食」をより結びつけたいと考えております。

次は農業界を盛り上げていければと思います。



## ● 営農技術向上を図るための研修

農業機械利用技能者養成研修では、大型トラクター等の安全運転操作や点検・整備など、農業機械の利用技術の習得、運転操作に必要な免許や資格を取得するための研修です。

また、農業者や農業指導者、JA香川県農業インターン生等を対象とした聴講生受け入れ研修や、新規就農者フォローアップ研修も実施しています。

研修区分	研修期間	内 容	資格取得等
農業機械 利用技能者 養成研修	I	5月～2月 講義:関係法規、農作業安全 実習:コース運転走行	大型特殊免許 (農耕車限定)
	II	1月～2月 講義:関係法規、農作業安全 実習:コース運転走行	けん引免許 (農耕車限定)
	III	予定 講義:安全操作講習 実習:刈払機取扱操作、安全教育	刈払機取扱作業従事者
		予定 講義:安全操作講習 実習:チェーンソー取扱操作、伐採等(チェーンソー) 作業従事者特別教育	特別教育修了者
IV	3月 講義:点検整備、エンジンの構造 実習:点検整備、ロータリ耕等	—	
フォローアップ 研修	5月～12月 (半日)	新規就農者等が、さらに知識を深めるための聴講研修。「病害虫防除」など研修科が開催する7つの講義から必要な講義を選択	—
聴講生受入研修	通年	希望する作物の栽培管理等に関する講義の聴講(野菜栽培、花き栽培、果樹栽培)	—

## ● 農業への理解を促進するための研修

### ○ 農業体験研修

農業への理解を促進するための児童、生徒、教員等を対象とした農作業体験研修



試験に本校のコースと農業機械を使用





農業大学校全景



正門から校舎を望む



まんのう町買田の果樹農場



先輩を招いて意見交換



先進農家と直接触れ合う授業も



ジビエ料理の実習



● 高松琴平電鉄榎井駅より500m  
徒歩約8分

● JR四国琴平駅より1.3km  
タクシー約5分、徒歩約18分

資料請求・問い合わせ先

**香川県立農業大学校**

〒766-0004 香川県仲多度郡琴平町榎井34-3

TEL 0877-75-1141

FAX 0877-75-3989

HP <http://www.pref.kagawa.lg.jp/nodai/>

E-mail [nodai@pref.kagawa.lg.jp](mailto:nodai@pref.kagawa.lg.jp)